

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公表番号】特表2018-508890(P2018-508890A)  
 【公表日】平成30年3月29日 (2018.3.29)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-012  
 【出願番号】特願2017-542031(P2017-542031)  
 【国際特許分類】

G 0 8 G 1/005 (2006.01)

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

G 0 1 C 21/36 (2006.01)

【 F I 】

G 0 8 G 1/005

G 0 1 C 21/26 P

G 0 1 C 21/36

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月25日 (2018.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

道路使用者 ( V T ) の挙動の評価を改善するための交通管制方法であって、次のステップを有する方法：

a ) 複数の異なる交通手段 ( V M ) を含む計算された複数の交通ルート案 ( V R V ) をルート作成ユニット ( R E 、 2 ) により、照会中の道路使用者 ( V T ) に伝達するステップ ( S 1 ) ；

b ) 前記伝達された複数の交通ルート案 ( V R Z ) の中から、前記照会中の道路使用者 ( V T ) が、1つの交通ルート ( V R ) を選択し、さらに、前記選択された交通ルート ( V R A ) を前記ルート作成ユニット ( R E 、 2 ) に伝達し、前記ルート作成ユニットが前記道路使用者 ( V T ) に、道路使用者により選択された前記交通ルート ( V R ) の交通ルートデータ ( V R D ) を提供する交通ルートの選択ステップ ( S 2 ) 、この場合、前記交通ルート ( V R ; V R A ) に対して前記道路使用者 ( V T ) が使用するための多種類の交通手段 ( V S 1 、 V S 2 、 V S 3 ) が用意されている；

c ) 前記道路使用者 ( V T ) によりそのとき使用された交通手段 ( V M ) を確認するために、前記道路使用者 ( V T ) により採用された交通ルート ( V R ) に沿って前記道路使用者 ( V T ) の位置データ ( P D ) を伝送するステップ ( S 3 ) ；

d ) 前記道路使用者 ( V T ) の採用した交通ルート ( V R ) での道路使用者の挙動を、前記道路使用者 ( V T ) により使用された交通手段 ( V M ) に基づいて評価するステップ ( S 4 ) 、この場合、前記道路使用者 ( V T ) の挙動には少なくとも道路使用者が使用した交通手段 ( V M ) の種類が含まれる。

【請求項 2】

前記道路使用者 ( V T ) からの交通ルート照会 ( R A N F ) を受領後、多種交通手段包括型のルート作成ユニット、または、1つの交通手段に特化したルート作成ユニット ( R E 、 2 ) により、複数の交通ルート案 ( V R V ) が計算される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記道路使用者 ( V T ) が、自分の採用した交通ルート ( V R ) に沿って、場所が特定され観察された交通関連事象を交通管制センター ( V M Z、 5 )、及び / 又は、前記ルート作成ユニット ( R E、 2 ) に事象通報 ( E M ) の形で伝達する、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ルート作成ユニット ( R E、 2 ) が道路使用者 ( V T ) のための複数の交通ルート案 ( V R V ) を、多数の道路使用者 ( V T ) から伝達された複数の交通関連事象に応じて計算する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

同一観察場所で様々な道路使用者 ( V T ) から発せられる、通報された、場所が特定された複数の交通関連事象が、観察された交通関連事象を検証、及び / 又は、特定するために、相互に比較される、請求項 3 または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記道路使用者 ( V T ) の端末機器 ( 8 ) から交通ルート照会を受領後、前記ルート作成ユニット ( R E、 2 ) が、ナビゲーションデータ及び / 又は実際の交通データに基づいて、複数の交通ルート ( V R ) のための様々な交通ルート案 ( V R V ) を計算し、1つの交通ルート ( V R ) を選択するために、前記道路使用者 ( V T ) の前記端末機器 ( 8 ) にそれらを送信する、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記道路使用者 ( V T ) の端末機器 ( 8 ) から 1つの交通ルート ( V R ) 選択のための交通ルート選択通知 ( V R A ) を受領後、前記ルート作成ユニット ( R E、 2 ) が、これに応じて計算された、前記選択された交通ルート ( V R ) のための交通ルートデータ ( V R D ) を前記道路使用者 ( V T ) の端末機器 ( 8 ) に伝送し、この交通ルートデータ ( V R D ) が、前記選択された交通ルートを前記道路使用者 ( V T ) のマップ上で視認できるように、前記端末機器 ( 8 ) の表示ユニットに表示される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記道路使用者 ( V T ) の端末機器 ( 8 ) から、前記交通ルート選択通知 ( V R A ) がさらに評価ユニット ( B E、 3 ) に伝達され、この評価ユニットが、前記交通ルート ( V R ) に沿って使用された交通手段 ( V M ) に基づいて、前記道路使用者 ( V T ) の挙動を評価する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記評価ユニット ( B E、 3 ) が、前記道路使用者 ( V T ) の挙動に対して、前記採用された交通ルート ( V R ) に沿って前記道路使用者 ( V T ) の使用した交通手段 ( V M ) のエミッション値に基づいて、前記道路使用者 ( V T ) の挙動に対する交通挙動値 ( V A Z ) を計算する、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記評価ユニット ( B E、 3 ) によって、エミッション値の低い交通手段 ( V M ) の使用は、エミッション値の高い交通手段 ( V M ) の使用よりも高く評価される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記評価ユニット ( B E、 3 ) が、道路使用者 ( V T ) の交通挙動の評価を、さらに、それぞれの道路使用者 ( V T ) から前記ルート作成ユニット ( R E、 2 ) 及び / 又は交通管制センター ( V M Z、 5 ) に伝達された事象通報 ( E M ) の量及び / 又は質に応じて行なうべく設計されており、この場合、前記質は事象通報の詳細度を表す、請求項 8 から 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記評価ユニット ( B E、 3 ) が、受領した当該道路使用者 ( V T ) の位置データ ( P D ) に基づいて、採用された交通ルート ( V R ) に沿ってこの道路使用者 ( V T ) により使用された交通手段 ( V M ) の確認を行う、請求項 8 から 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 13】**

1人の道路使用者(VT)または、複数の道路使用者(VT)から成る1グループ(VTG)がその交通挙動を評価するために前記評価ユニット(BE、3)に登録する、請求項8から12のいずれか1項に記載の方法。

**【請求項 14】**

1人の道路使用者(VT)または、複数の道路使用者から成る1グループ(VTG)が加入者シンボルとして、それぞれの道路使用者(VT)の1つまたは多数のモバイル端末機器(8)の表示ユニット上に、前記交通ルート(VR)に沿った実際の位置で表示される、請求項1から13のいずれか1項に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記評価ユニット(BE、3)が、前記表示された加入者シンボルを当該道路使用者(VT)の評価された挙動に応じて動的に変更する、請求項14に記載の方法。

**【請求項 16】**

前記評価ユニット(BE、3)が、前記道路使用者(VT)の評価された挙動に基づき、当該道路使用者(VT)もしくは、複数の道路使用者から成る1グループを直接的に報奨する、または、当該道路使用者(VT)もしくは、複数の道路使用者から成る1グループ(VTG)の評価された挙動に基づき、当該道路使用者(VT)が推奨により間接的に報奨されるようにする、請求項1から15のいずれか1項に記載の方法。

**【請求項 17】**

道路使用者(VT)の挙動の評価を改善するための交通管制システム(1)であって、この交通管制システムが、  
a) ルート作成ユニット(RE、2)にルート照会(RANF)を送信する道路使用者(VT)のモバイル端末機器(8)を備えており、  
b) 前記ルート作成ユニット(RE、2)が、受領したルート照会(RANF)それぞれに対して複数の異なる交通手段(VM)を含む複数の交通ルート案(VRV)を計算し、照会中の道路使用者(VT)に伝達し、  
c) 前記道路使用者(VT)が1つの交通ルート(VR)を選択し、その交通ルートデータ(VRD)が前記ルート作成ユニット(RE、2)により前記道路使用者(VT)に伝送され、この場合、前記交通ルート(VR；VRA)に対して前記道路使用者(VT)が使用するための多種類の交通手段(VS1、VS2、VS3)が用意されており、  
d) 当該道路使用者(VT)が採用した交通ルート(VR)で道路使用者により使用された交通手段(VM)を確認するために、前記ルート作成ユニット(RE、2)が、当該道路使用者(VT)により採用された交通ルート(VR)に沿ってその道路使用者(VT)の位置データ(PD)を分析し、当該道路使用者(VT)により使用された交通手段(VM)に基づいて当該道路使用者(VT)の挙動が評価され、この場合、前記道路使用者(VT)の挙動には少なくとも道路使用者が使用した交通手段(VM)の種類が含まれる、交通管制システム。

**【請求項 18】**

前記交通管制システム(1)の評価ユニット(BE、3)が、当該道路使用者(VT)により使用された交通手段(VM)の環境に対する優しさ、及び、当該道路使用者(VT)から発せられた場所が特定された事象通報(EM)の量及び/又は質、に応じて当該道路使用者(VT)の挙動を評価すべく設計されており、この場合、前記質は事象通報の詳細度を表す、請求項17に記載の交通管制システム。

**【請求項 19】**

前記評価ユニット(BE、3)により評価された多数の道路使用者(VT)の挙動に応じて、複数の交通制御手段及び/又は複数の交通手段(VM)を制御すべく設計された制御ユニットを備えた、請求項18に記載の交通管制システム。

**【請求項 20】**

前記道路使用者(VT)の挙動には、道路使用者から提供された事象通報(EM)の量及び質も含まれる、請求項1に記載の方法。

## 【請求項 21】

前記道路使用者（V T）の挙動には、道路使用者から提供された事象通報（E M）の量及び質も含まれる、請求項 18 に記載の交通管制システム。